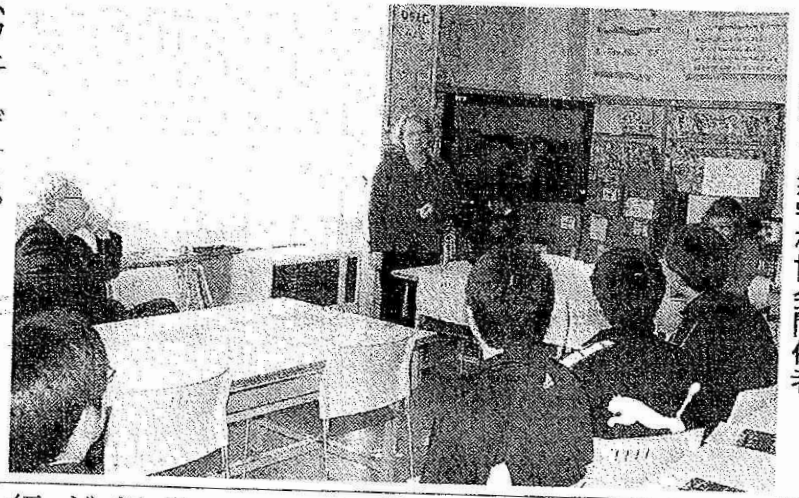
北海道新聞2010年3月31日

自然学校 海外から学ぶ

スウェーデンの取り組み紹介

当別



スウェーデンの教育事情について話す自然学校協会関係者

【当別】スウェーデンの自然学校事情を学ぶセミナーが30日、当別小学校で開かれ、町内の小学教諭や一般町民ら約10人が参加した。

NPO法人当別エコロジカルコミュニティーの主催で、来日中のスウェーデン自然学校協会の教育者5人が野外教育事情について話した。

野外環境教師のマッツ・ウェイドマルク氏は「自然学校はハコモノではなく、幼稚園や小学校などをサポートする組織。自治体の教育行政の傘下にあり、予算で運営されている」と説明。「スウェーデンの学校は多くが公立で、野外教育は自治体運営の幼稚園から行われている。数学などの必修科目も屋外で行われ、子供たちは自然とのかかわりを通じて、持続可能社会推進（環境維持）のために何が必要かを学んでいる」と紹介した。

（荻野貴生）

市民芸術祭の奨励賞を「美しいまちづくり」調査事業「長く福祉音楽育て推進調査